

中国語教育学会会報

第 67 号(通巻 92 号) 2024 年 4 月 30 日発行

〒261-0014

千葉県千葉市美浜区若葉 1-4-1

神田外語大学 アジア言語学科

中国語専攻 植村麻紀子研究室内

中国語教育学会

Website <http://www.jACLE.org/>

Email headoffice@jACLE.org

郵便振替口座 00110-1-191152

目次

1. 会長挨拶
2. 新役員紹介
3. 委員紹介、研究会担当紹介
4. 中国語教育学会第 22 回全国大会について
5. 事務局からのお知らせとお願い
 - 5.1 事務局移転について
 - 5.2 新入会員について
 - 5.3 登録情報の変更等について
 - 5.4 会費納入のお願い
 - 5.5 各種情報提供のお願い

1. 会長挨拶 植村麻紀子

この4月から氷野善寛会長の後を受けて2024、2025年度の会長を務めさせていただくことになりました。神田外語大学の植村麻紀子と申します。浅学菲才でITリテラシーも高くありませんが、会員のみなさまに満足していただけるよう努めてまいりますので、ご支援、ご教示のほど、よろしくお願い申し上げます。

氷野前会長の就任挨拶でも触れられていましたが、本学会の設立趣意書には、前身である「全国中国語教育協議会」が1997年に発足した当初の目的として、「大学・高校・専門学校・講習会・個人教授等を網羅し、中国語教育者が相互の経験交流を通じて自らの向上を求めるとともに、中国語教育の普及と発展を目指したものと」掲げられております。趣意書には、2002年に学会へと移行した当時の会員数はおよそ230名とありましたが、約20年でその2.5倍の会員を擁するまでになりました。わたくし自身、学会発足時は高校専任教員としての参加でした。その後、高校や大学の非常勤、専門学校、企業の中国語クラブ等、さまざまな場で教える経験を積ませていただきましたが、それぞれに特有の課題はあるものの、協働して取り組むべきことも多数あると感じております。最近では生成AIの進歩が著しく、「言語の教師が学習者と向き合う教室ですべきことは何か」と日々自問しながら教壇に立っておりますが、研究と教育の両輪を大事にしつつも、「教育学会」である以上、これまで以上に教員自身の学びの場、教育経験交流の場としての学会を模索していく2年間でありたいと考えております。

会の運営におきましては、理事ならびに各種委員会の先生方のご協力はもちろん、会員のみなさまのご参加・ご協力が欠かせません。一層のご支援、ご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2. 新役員紹介(2024年4月~2026年3月)

昨年末に行われました選挙において得票数 10 位以内の方に加えて、内規に基づき地域や勤務先のバランス等を考慮して更に9名の方に理事をお願いすることになりました(選挙結果につきましては会報第 66 号をご覧ください)。手続きとしては、6 月の全国大会初日に開催される会員総会の承認を経て正式に決定します。

(以下、五十音順。敬称略)

顧問: 輿水優、依藤醇

会長: 植村麻紀子

代表理事: 加藤晴子、清原文代、氷野善寛

理事: 勝川裕子、佐々木勲人、杉江聡子、鈴木慶夏、陳淑梅、中田聡美、西香織、長谷川賢、平井和之、藤井達也、古川裕、紅粉芳恵、丸尾誠、三宅登之、村上公一

幹事: 青野英美、黄琬婷、日高知恵実

会計監査: 斎藤貴志、由川美音

3. 委員紹介、研究会担当紹介

(以下、五十音順。敬称略)

『中国語教育』第 23 号(2024 年度)編集委員会

陳淑梅、西香織、藤井久美子(委員長)、宮本大輔、望月雄介、山下一夫、李偉、路浩宇

デジタルリソース委員会

伊藤大輔(委員長)、太田匡亮、中田聡美、李光曦

第 22 回全国大会(2024 年度)準備委員会

相原里美、池田晋、郭修静、島村典子、中田聡美、日高知恵実、紅粉芳恵、古川裕(委員長)

研究会担当(2024 年度)

東日本担当: 杉江聡子(北海学園大学)、鈴木慶夏(神奈川大学)

西日本担当: 長谷川賢(立命館大学)、紅粉芳恵(大阪産業大学)

中国語教育学会は年に数回(不定期)、オンラインで研究会を開催しています。研究会での発表を希望される方は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

研究会担当メールアドレス(杉江・鈴木) kanto@jacle.org

研究会担当メールアドレス(長谷川・紅粉) kansai@jacle.org

4. 中国語教育学会第 22 回全国大会について

2024年6月1日(土)~2日(日)に、第22回全国大会が大阪大学箕面キャンパスで開催されます。一日目には基調講演とシンポジウム、会員総会、懇親会等が、二日目には研究分科会が開かれます。詳細については、全国大会準備委員会より送付済みの参加案内をご覧ください。みなさまどうぞ奮ってご参加ください。以下、プログラムです。

6月1日(土):外国学研究講義棟

11:30-17:00	受付	1階/入口
11:30-18:00	クローク	2階/学術交流室
12:00-17:00	書店・出版社展示会	1階/記念ホール
9:30-10:30	2024年度第1回編集委員会	5階/504教室
10:30-12:30	2024年度第1回理事会	5階/504教室
11:30-17:00	受付	1階/入口
13:00-13:10	開会式 会長挨拶:植村麻紀子(神田外語大学) 開催校挨拶:古川裕(大阪大学/全国大会準備委員会委員長) 司会:中田聡美(大阪大学)	1階/大講義室
13:10-14:40	基調講演 《美国中文教育的历史、现状与未来——兼谈中文传承语教学问题》 梁霞(美国圣路易斯华盛顿大学[Washington University in St. Louis]东亚系教学教授・美国中文教师学会会长) 司会:古川裕(大阪大学)	1階/大講義室
14:40-15:00	休憩	
15:00-17:00	シンポジウム 「継承語としての中国語教育を考える」 登壇者:櫻井千穂(大阪大学) 登壇者:王雁・柳素子(大阪府立門真なみはや高等学校) 登壇者:李光曦(大阪経済法科大学) 登壇者:小川典子・朱藹琳(愛知大学) 司会:小川典子(愛知大学)	1階/大講義室
17:10-18:00	会員総会	1階/大講義室
18:30-20:00	懇親会	3階/食堂

6月2日(日):外国学研究講義棟

9:30-12:00	受付	1階/入口
9:30-16:00	クローク	2階/学術交流室
9:00-16:00	書店・出版社展示会	1階/記念ホール

研究発表

	分科会A-1(6階/603)	分科会B-1(6階/628-629)	分科会C-1(6階/632)
司会	清原文代(大阪公立大学)	長谷川賢(立命館大学)	西香織(明治学院大学)
10:00-10:30	コロナ禍における中国語遠隔授業の成果と課題—受講生へのアンケートの分析を中心に— 桜木陽子(関西大学・非)	中国語教育における謝罪の語用学的アプローチ:現状と将来性 茜千里(上智大学・非) 田芮源(東京学芸大学・院)	留学生を活用した中国語初級会話授業の構築—アクティビティの設計を中心に— 呉青青(長崎外国語大学)

10:40-11:10	初級中国語クラスにおけるベトナム人学生の学習特徴とその原因について—日本人学生との混合クラスを例に 王維亭(千葉大学)	「形容詞+する/なる」の中国語訳における学習者の誤用に関する考察 小田陽子(大阪大学・院)	言語景観を中国語教育に活用する—教育実践から教材開発と授業デザインを考える— 袁曉今(愛知県立大学)
11:20-11:50	浅谈在日越南留学生的汉语教育现状 畢文涛(北京語言大学東京校)	「案内」「案外」を用いた中国語/an/・ang/の教授法について 金佳(関西大学) 中上花音(関西大学・学部)	マルチモーダルな中国語アウトプットとしてのShow & Tell活動—協働学習の導入による新たな展開を目指して— 単艾婷(公立小松大学)
11:50-13:00	昼休み		
	分科会A-2(6階/603)	分科会B-2(6階/628-629)	分科会C-2(6階/632)
司会	氷野善寛(目白大学)	加藤晴子(東京外国語大学)	丸尾誠(名古屋大学)
13:00-13:30	ChatGPT-4における中国語誤用訂正機能の検証—「中国語学習者中国語作文誤用コーパス検索サイト」のデータを基に— 張恒悦(早稲田大学)	日本の中国語中級教材における文法項目の分析試行 張素娟(同志社大学)	注視点からみる中国語における“了”“着”の選択問題 何静(名古屋大学・院)
13:40-14:10	「おうち中国語」から考える日本の幼児・児童中国語教育の問題と展望 赤池晴香(日中学院・非)	中国語の事象キャンセル 劉鑑鋒(大阪大学・院)	“他穿着毛衣”と“他穿着一件毛衣”—教育現場における中国語数量詞の使用基準に関する—考察 閻瑜(お茶の水女子大学)
14:20-14:50			中国語の助詞“了”の特徴について—初級学習者の作文の誤用を通して— 楊彩虹(北海道大学)
	分科会A-3(6階/603)	分科会B-3(6階/628-629)	
司会	丁雷(慶應義塾大学)	勝川裕子(名古屋大学)	
14:25-14:55	汉语水平对日本汉语学习者词语搭配能力的影响 李佳(大阪大学)	方位詞“上”、“下”を含む対挙形式に関する—考察—構文文法の視点から— 楊宜璇(大阪大学・院)	
15:05-15:35	否定祈使句“副词+别+VP/AP”格式中常用副词的种类及其句式特征 許挺傑(大分県立芸術文化短期大学)	助動詞“可以”の用法と意味について 林嵐娟(大阪公立大学/近畿大学・非)	

【事前参加申し込みのお願い】

・全国大会に参加される方は、会員/非会員ともに、可能な限り下記の Peatix より、参加費の事前決済にご協力お願いいたします。決済が完了した時点で、事前申し込み完了となります。

事前参加申し込み: Peatix <https://taikai22-minoh-osaka.peatix.com>

5. 事務局からのお知らせとお願い

5.1 事務局移転について

会長交代にともない、事務局を以下に移転しました。

〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉 1-4-1

神田外語大学 アジア言語学科 中国語専攻 植村麻紀子研究室内

中国語教育学会事務局

Website <http://www.jacle.org/>

Email headoffice@jacle.org (変更ありません)

電話・fax によるお問合せは受け付けておりません。あしからずご了承ください。

5.2. 新入会員について

2024年4月26日現在の会員数は584名(うち、顧問・名誉会員42名)です。

なお、会報第66号発行時(2024年1月25日)以降の新入会員は以下の通りです。(敬称略)

今岡貴子(倉敷高等学校)、王瓊(国士舘大学法学部・非)、賈海濤(神奈川大学外国語学部・特任教員)、高飛(愛知淑徳大学)、鄭嵐(徳島大学教養教育院・非)、寺倉大智(立命館大学・研修生)、吉野孝介(京都外国語大学・研究員)、李筱(大阪大学・院)、劉玲玲((株)prooproo・専任教員)

5.3 登録情報の変更等について

本学会では、会員の個人情報につきましては各会員ご自身により入力していただくことになっております。所属や連絡先、郵便物の送付先等に変更が生じた場合は、本学会Webサイトにリンクされている「WEB版会員名簿」にログインして、ご自身で変更していただきますようお願いいたします。

<https://a-youme.com/aymms/jacle/login>

退会を希望される方は、当該年度までの会費をすべて納入した上で、学会サイトの「Web版会員名簿・変更手続き」にログインして退会手続きを取っていただきますようお願いいたします。なお、会則第5条に基づき除籍になった会員は、氏名が次号以降の会報に掲載されますのでご注意ください(会報は学会Webサイトで公開)。退会届が受理された場合、退会者の氏名は掲載いたしません。

WEB版会員名簿(会員情報管理システム)の運用については、あゆみコーポレーションに委託しております。WEB版会員名簿に関するお問い合わせは下記のあゆみコーポレーションまでお願いします。

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1丁目4-8 日栄ビル703A

あゆみコーポレーション内 中国語教育学会事務局事務代行

E-Mail:support@jacle.org TEL.06-6441-5260(代) FAX.06-6441-2055(代)

あゆみコーポレーションは複数の学会の事務局代行を行っており、電話番号、ファックスとも他学会と共通で使用しているため、ご連絡の際には「中国語教育学会」についての問い合わせであるということを必ずお伝えください。

5.4 会費納入のお願い

『中国語教育』第23号にご投稿をお考えの方は、2024年9月15日までに2024年度までの会費が納入されていないと投稿資格がありません。お早めにご納入ください。

(『中国語教育』投稿規程 <http://www.jacle.org/contribution/>)

会費納入状況は会員自身でWEB版会員名簿(会員情報管理システム)にて確認することができます。

<https://a-youme.com/aymms/jacle/login>

4月5日に郵送した払込取扱票を紛失された場合は、郵便局に備え付けの「払込取扱票」を使用して、下記の郵便振替口座に送金してください(その場合には、通信欄に氏名および会員番号を、会員番号がわからなければ、氏名に加えて学会に登録している住所を必ずご記入ください)。

[口座記号-口座番号]00110-1-191152 [加入者名]中国語教育学会

5.5 各種情報提供のお願い

中国語教育に関連する催し物(スピーチコンテスト・シンポジウム等)の情報がございましたらお知らせください。本学会Webサイトに掲載し、周知の一助とさせていただきます。